【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成21年11月12日(2009.11.12)

【公表番号】特表2009-525056(P2009-525056A)
【公表日】平成21年7月9日(2009.7.9)
【年通号数】公開・登録公報2009-027
【出願番号】特願2008-531451(P2008-531451)
【国際特許分類】
Ａ４７Ｊ　31/36　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ４７Ｊ　31/36

【手続補正書】
【提出日】平成21年9月17日(2009.9.17)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
液体とフレーバー成分とを受け入れて、飲料を抽出するよう操作可能な抽出チャンバーと、
前記抽出チャンバー内に配され、第一の方向に移動することにより前記抽出された飲料から固形物を濾過し、第二の方向に移動することにより前記濾過された飲料を分配するよう操作可能なピストン組立体とを備える飲料抽出装置。
【請求項２】
前記ピストン組立体の動きを制御するよう操作可能なコントローラをさらに備える請求項１に記載の飲料抽出装置。
【請求項３】
前記抽出チャンバーと前記ピストン組立体とが筒状を有する請求項１に記載の飲料抽出装置。
【請求項４】
液体とフレーバー成分とを受け入れて、飲料を抽出するよう操作可能な抽出チャンバーと、
前記抽出チャンバー内に配され、第一の方向に移動することにより前記抽出された飲料から固形物を濾過し、第二の方向に移動することにより前記濾過された飲料を前記抽出チャンバーから押出すよう操作可能なピストン組立体とを備え、
前記抽出チャンバーは、底部と前記底部に配される飲料分配導管とを有し、
前記ピストン組立体は、前記第一の方向へ移動するときは、前記抽出チャンバーの前記底部から離れる方向へ動き、
前記ピストン組立体は、前記第二の方向へ移動するときは、前記抽出チャンバーの前記底部に向かって動くことを特徴とする飲料抽出装置。
【請求項５】
前記フレーバー成分はコーヒー滓からなり、
前記液体は水からなり、
前記固形物は使用済みコーヒー滓からなることを特徴とする請求項１に記載の飲料抽出装置。
【請求項６】

前記ピストン組立体は、
前記抽出された飲料を、前記ピストン組立体の第一の側にある前記抽出チャンバーの第一の部分から前記ピストン組立体の第二の側にある前記抽出チャンバーの第二の部分に通過させ、さらに、前記ピストン組立体が前記第一の方向に移動する間に前記固形物が前記抽出チャンバーの前記第一部分から前記抽出チャンバーの前記第二の部分へ通過するのを防止することによって、前記抽出された飲料から前記フレーバー成分を濾過し、
前記ピストン組立体が前記第二の方向へ移動する間に、前記濾過された飲料が前記抽出チャンバーの前記第二の部分から前記抽出チャンバーの前記第一の部分へ通過するのを防止することによって、前記濾過された飲料を分配するよう操作可能なフィルタ組立体を備えることを特徴とする請求項１に記載の飲料抽出装置。
【請求項７】
前記ピストン組立体は、
フィルタ組立体と、
前記ピストン組立体が前記第一の方向へ移動する間に、前記抽出された飲料が前記フィルタ組立体を通過し、前記ピストン組立体が前記第二の方向に移動する間に、前記濾過した飲料が前記フィルタ組立体を通過することを防止するよう操作可能なバルブとを備えることを特徴とする請求項１に記載の飲料抽出装置。
【請求項８】
前記液体を保持して、所定の温度まで加熱し、前記加熱した液体を前記抽出チャンバーに供給するよう操作可能な水貯留および加熱ユニットをさらに含むことを特徴とする請求項１に記載の飲料抽出装置。
【請求項９】
前記液体を保持し、第一の所定の温度まで前記液体を加熱するよう操作可能な水貯留および加熱ユニットと、
前記加熱された前記液体を前記水貯留および加熱ユニットから受け取り、液体温度を前記第一の所定の温度から第二の所定の温度まで変更して、前記第二の所定の温度を有する前記液体を前記抽出チャンバーに供給するよう操作可能な温度制御ユニットとをさらに備えることを特徴とする請求項１に記載の飲料抽出装置。
【請求項１０】
液体とフレーバー成分とを受け入れて、飲料を抽出するよう操作可能な抽出チャンバーと、
前記抽出チャンバー内に配され、第一の方向に移動することにより前記抽出された飲料から固形物を濾過し、第二の方向に移動することにより前記濾過された飲料を前記抽出チャンバーから押出すよう操作可能なピストン組立体と、
前記液体を保持し、第一の所定の温度まで前記液体を加熱するよう操作可能な水貯留および加熱ユニットと、
前記加熱された前記液体を前記水貯留および加熱ユニットから受け取り、前記液体を第二の所定の温度まで冷却して、前記冷却された前記液体を前記抽出チャンバーに提供するよう操作可能な温度制御ユニットとを備えることを特徴とする飲料抽出装置。
【請求項１１】
液体とフレーバー成分とを受け入れて、飲料を抽出するよう操作可能な抽出チャンバーと、
前記抽出チャンバー内に配され、第一の方向に移動することにより前記抽出された飲料から固形物を濾過し、第二の方向に移動することにより前記濾過された飲料を前記抽出チャンバーから押出すよう操作可能なピストン組立体と、
飲料カップを保持するよう操作可能なカップホルダーとを備え、
前記ピストン組立体は飲料を前記飲料カップ内に分配するよう操作可能であることを特徴とする液体抽出装置。
【請求項１２】
液体とフレーバー成分とを受け入れて、飲料を抽出するよう操作可能な抽出チャンバー

と、
前記抽出チャンバー内に配され、第一の方向に移動することにより前記抽出された飲料から固形物を濾過し、第二の方向に移動することにより前記濾過された飲料を前記抽出チャンバーから押出すよう操作可能なピストン組立体と、
飲料カップを保持するよう操作可能なカップホルダーと、
前記飲料カップが前記カップホルダー内にあるか否かを表示するよう操作可能なセンサとを備え、
前記ピストン組立体は、前記飲料カップが前記カップホルダーにあることを前記センサが表示すると、前記飲料を前記抽出チャンバーから前記飲料カップ内に押出すよう操作可能であることを特徴とする液体抽出装置。
【請求項１３】
液体とフレーバー成分とを受け入れて、飲料を抽出するよう操作可能な抽出チャンバーと、
前記抽出チャンバー内に配され、第一の方向に移動することにより前記抽出された飲料から固形物を濾過し、第二の方向に移動することにより前記濾過された飲料を前記抽出チャンバーから押出すよう操作可能なピストン組立体とを備え、
前記抽出チャンバーが、
壁と、
前記壁に連結されて前記壁を所定の温度に保持するよう操作可能な水貯留および加熱ユニットとをさらに備えることを特徴とする液体抽出装置。
【請求項１４】
液体とフレーバー成分とを受け入れて、飲料を抽出するよう操作可能な抽出チャンバーと、
前記抽出チャンバー内に配され、第一の方向に移動することにより前記抽出された飲料から固形物を濾過し、第二の方向に移動することにより前記濾過された飲料を前記抽出チャンバーから押出すよう操作可能なピストン組立体とを備え、
前記抽出チャンバーは、開口部と、前記開口部と連続する略平面とをさらに備え、
前記ピストン組立体は前記表面を有し、前記ピストン組立体の前記表面が前記連続する平面と略面一である場合、ふき取り位置に向かって移動するよう操作可能であることを特徴とする液体抽出装置。
【請求項１５】
液体とフレーバー成分とを受け入れて、飲料を抽出するよう操作可能な抽出チャンバーと、
前記抽出チャンバー内に配され、第一の方向に移動することにより前記抽出された飲料から固形物を濾過し、第二の方向に移動することにより前記濾過された飲料を前記抽出チャンバーから押出すよう操作可能なピストン組立体とを備え、
前記抽出チャンバーは、開口部と、前記開口部と連続する略平面とを有し、
前記ピストン組立体は、表面を有し、前記飲料を濾過した後に、前記ピストン組立体の前記表面が前記連続する平面と略面一となるふき取り位置へ移動するよう操作可能なことを特徴とする液体抽出装置。
【請求項１６】
液体とフレーバー成分とを受け入れて、飲料を抽出するよう操作可能な抽出チャンバーと、
前記抽出チャンバー内に配され、第一の方向に移動することにより前記抽出された飲料から固形物を濾過し、第二の方向に移動することにより前記濾過された飲料を前記抽出チャンバーから押出すよう操作可能なピストン組立体とを備え、
前記抽出チャンバーが、開口部と、前記開口部と連続する略平面とをさらに有し、
前記ピストン組立体は、表面を有し、前記飲料を濾過した後であって前記抽出チャンバーから追い出す前に、前記ピストン組立体の前記表面が前記連続する平面と略面一となるふき取り位置に移動するよう操作可能であることを特徴とする液体抽出装置。

【請求項１７】
液体とフレーバー成分とを受け入れて、飲料を抽出するよう操作可能な抽出チャンバーと、
前記抽出チャンバー内に配され、第一の方向に移動することにより前記抽出された飲料から固形物を濾過し、第二の方向に移動することにより前記濾過された飲料を前記抽出チャンバーから押出すよう操作可能なピストン組立体とを備え、
前記抽出チャンバーは、
開口部と、
前記開口部に隣接する前記抽出チャンバーの外側に配され、前記液体を前記抽出チャンバーに供給するよう操作可能なノズルとをさらに備えることを特徴とする液体抽出装置。
【請求項１８】
液体とフレーバー成分とを受け入れて、飲料を抽出するよう操作可能な抽出チャンバーと、
前記抽出チャンバー内に配され、第一の方向に移動することにより前記抽出された飲料から固形物を濾過し、第二の方向に移動することにより前記濾過された飲料を前記抽出チャンバーから押出すよう操作可能なピストン組立体とを備え、
前記抽出チャンバーは、
壁と、
前記チャンバーの前記壁に形成され、前記抽出チャンバーに前記液体を供給するよう操作可能な開口部とを有することを特徴とする液体抽出装置。
【請求項１９】
液体とフレーバー成分とを受け入れて、飲料を抽出するよう操作可能な抽出チャンバーと、
前記抽出チャンバー内に配され、第一の方向に移動することにより前記抽出された飲料から固形物を濾過し、第二の方向に移動することにより前記濾過された飲料を前記抽出チャンバーから押出すよう操作可能なピストン組立体とを備え、
前記第二の方向は、前記第一の方向の逆方向であることを特徴とする液体抽出装置。
【請求項２０】
抽出チャンバーと、
前記抽出チャンバー内に摺動可能に配され、複数のフィルタ層を備えるフィルタ組立体と１または２以上の一方向バルブを受け入れる１または２以上の開口部を有するフィルタ基部プレートとを含むピストン組立体とを備え、
前記フィルタ組立体は前記フィルタ基部プレートに結合していることを特徴とする飲料抽出装置。
【請求項２１】
前記バルブは逆止弁からなることを特徴とする請求項２０に記載の飲料抽出装置。
【請求項２２】
抽出チャンバーと、
前記抽出チャンバー内に摺動可能に配され、フィルタ組立体と、一方向バルブを含むピストン組立体とを備え、
前記バルブは可撓性を有することを特徴とする飲料抽出装置。
【請求項２３】
フレーバー成分と液体とから抽出チャンバー内で飲料を生産する工程と、
前記抽出チャンバー内でピストンを第一の方向に移動させることにより、固形物を前記飲料から濾過する工程と、
前記抽出チャンバー内で前記ピストンを第二の方向に移動させることにより、濾過された前記飲料を分配する工程とからなる方法。
【請求項２４】
前記飲料を生産する工程は、挽いたコーヒーと水から、前記抽出チャンバー内でコーヒーを抽出する工程を含むことを特徴とする請求項２３に記載の方法。

【請求項２５】
前記固定物は、残った前記フレーバー成分であることを特徴とする請求項２３に記載の方法。
【請求項２６】
前記飲料を生産する工程は、
前記フレーバー成分を前記抽出チャンバー内に導入する工程と、
前記液体を前記抽出チャンバー内に導入する工程と、
前記フレーバー成分を含む前記液体を攪拌する工程とからなることを特徴とする請求項２３に記載の方法。
【請求項２７】
前記飲料を分配した後に、固形残留物を前記ピストンから廃液排出ユニット内に向けてふき取る工程をさらに備えることを特徴とする請求項２３に記載の方法。
【請求項２８】
前記飲料を濾過した後であって分配する前に、固形残留物を前記ピストンから廃液排出ユニット内に向けてふき取る工程をさらに備えることを特徴とする請求項２３に記載の方法。
【請求項２９】
抽出パラメータを受け取る工程と、
前記抽出パラメータに従って前記飲料を生産する工程とをさらに備えることを特徴とする請求項２３に記載の方法。
【請求項３０】
抽出パラメータを電気的に受け取る工程と、
前記抽出パラメータに従って前記飲料を生産する工程とをさらに備えることを特徴とする請求項２３に記載の方法。